

企業の皆様へ サイバー犯罪の被害は 警察へ通報を!

社会のデジタル化の進展に伴い、業務に関するデータをオンラインで取り扱う機会が増加する中、企業を標的としたサイバー犯罪も発生しています。

サイバー犯罪による深刻な被害

ランサムウェア

「ランサムウェア」と呼ばれるコンピュータウイルスに感染すると、パソコンやサーバに保存しているデータが暗号化され使用できなくなり、データを復元する対価として金銭を要求される。

さらには、データを盗み取った上、「対価を支払わなければデータを公開する」などと金銭を要求するダブルエクストーション(二重恐喝)という手口も発生している。

不正アクセスやコンピュータウイルスによる情報漏えい

パスワード管理の甘さやシステムの脆弱性を悪用して企業のネットワークに侵入するなどの不正アクセス、業務に関連するメールを装って送付されたメールの添付ファイルを開いたことによるコンピュータウイルスへの感染等により、個人情報や機密情報が盗み取られる。

テレワーク環境を狙った攻撃も発生している。



サイバー犯罪の実態を明らかにし、被害を拡大させないためには、**被害を潜在化させないことが重要です。**



このような被害にあわれたら、**最寄りの警察署**または
都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口へ

警察では、サイバー犯罪に対する様々な対策を行っています

警察へ寄せられたサイバー犯罪に関する情報を分析し、**事件捜査**を行うほか、**被害企業における対策に必要な情報の提供・助言**、**他の企業等への被害拡大を防止するための注意喚起**等の被害防止のための取組を行っています。

企業の皆様からの情報提供がサイバー空間の安全につながります

サイバー犯罪に関する情報の分析

サイバー犯罪事件の捜査

被害の拡大防止・再発防止



警察庁

National Police Agency

都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口はこちら⇒

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>

